

2014年8月18日(月) ハコラク9月号 掲載

ドクターコラム『NICUでの治療』

小児科 中島 美佳 医長

ドクターコラム 3 [小児科]

NICUに入院しているのはどんな赤ちゃんでしょう？早産で体重も小さく、たくさんの管につながれた小さな小さな赤ちゃん。多くの方々はこのようなイメージをお持ちですか？NICUには小さく生まれた赤ちゃんのほかに、病気をもつ赤ちゃんたちもいます。生まれつき病気をもつてたり、お産そのものが赤ちゃんへのストレスとなり、誕生後環境に順応するスイッチがうまく入らない、いわゆる仮死で生まれてきた赤ちゃんもいます。

「NICUでの治療」

NICUでは、入院してきた赤ちゃんを集中的に管理し、治療しています。早産の赤ちゃんと、早産ではないけれど病気をもつ赤ちゃんとでは、治療方法は異なります。早産で生まれた小さい赤ちゃんは、本来安全であったおなかの中の環境を再現するのです。早産ではないけれども、仮死で生まれたり、外の環境に適応しにくいケースもあります。

内臓の機能はでかけていますが、子宮に近い環境をつくることで変化の橋渡しをしてあげます。おかげで、健康な赤ちゃんも、おなかの外にいること 자체が重大大事。さらに病気の赤ちゃんが早産で生まれてくることもあります。

治療はその赤ちゃんに合わせて行なわれます。赤ちゃんに必要な治療を見極めてサポートしていく



函館中央病院
小児科
中島 美佳
医長

[略歴]

平成5年、北海道大学医学部卒業後、北海道大学病院医学部付属病院、埼玉県立小児医療センター、東京都立大塚病院、国保松戸市立病院、東京都立北療育医療センター勤務を経て、平成26年より函館中央病院小児科に勤務。同年、小児科医長に就任。日本小児科学会専門医、日本人類遺伝・日本遺伝カウンセリング学会臨床遺伝専門医、日本小児感染症学会ICD



函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyou.com/>

診療科目／内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全22科目
受付時間／8:30～11:30・13:30～16:00※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。
休診日／日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)